

第1章 地域コミュニティに関する基本的事項

本章の概要

最近、社会状況の変化や地方分権の進展等、地域を取り巻く環境が大きく変化する中で、地域コミュニティに対する社会的需要や関心、期待が再び高まってきている。

本章では、こうした地域コミュニティが今日再び必要とされてきた社会的背景や、地域コミュニティに求められている役割・機能、それを巡る国や地方公共団体等の最近の動向等、地域コミュニティ活性化方策を検討する上で必要となる基本的事項の整理を行った。

本章の構成

- ・ 地域コミュニティとは何か（概念的整理）
 - 1 地域コミュニティの定義
 - 2 地域コミュニティに求められる機能
- ・ 地域コミュニティの歴史的経緯
 - 1 地域コミュニティの歴史
 - 2 愛知県の地域コミュニティ施策の系譜
- ・ 地域コミュニティをめぐる最近の動向
 - 1 国の動向
 - 2 地方公共団体の動向（都道府県を中心に）

地域コミュニティとは何か(概念的整理)

1. 地域コミュニティの定義

ここでは、「地域コミュニティ」について、一般的な定義例(国・地方公共団体・専門家等)を参考に、本調査における定義づけを行った。

(1) 一般的な定義

「コミュニティ」という言葉は、以前から頻繁に使用されている言葉であるが、本来外来語であり、これまで「共同体」、「地域社会」、「近隣社会」などと翻訳され、現在のところ、必ずしも定まった定義や概念があるわけではない。

近年では、インターネット上での集まりや地域を越えて幅広い人材で活動を展開する組織(NPO等)もコミュニティと呼ばれるなど、その定義づけは様々で幅広い解釈がされる。

このうち、特に地縁に基づくものについては、地域住民の相互性を強調し、一般的に「地域コミュニティ」と呼ばれ、他のコミュニティと区別されることが多い。本調査で主たる対象とするコミュニティも、この地縁による「地域コミュニティ」である。

そこで、まず、この「地域コミュニティ」の定義について、これまで国や他の都道府県、既往文献等において一般的に示されてきた「コミュニティ」の定義の例をいくつか見ていくこととする。

図表1-1 地域コミュニティの定義例

項目	定義
国民生活審議会調査部会(1969)	<u>生活の場において、市民としての自主性と責任を自覚した個人及び家庭を構成主体として、地域性と各種の生活目標を持った、開放的でしかも構成員相互に信頼感のある集団</u>
国民生活審議会総合企画部会(2005)	<u>自主性と責任を自覚した人々が、問題意識を共有するもの同士で自発的に結びつき、ニーズや課題に能動的に対応する人と人とのつながりの総体。経済社会の変化の中で、企業や行政だけでなく、人々の暮らしを支える主体として、自己解決能力を備えたコミュニティの役割が再び注目。コミュニティを再興していくためには、多様性と包容力、自立性、開放性という3つの条件を備える必要がある。</u>
総務省(コミュニティ研究会)	<u>(生活地域、特定の目標、特定の趣味など)何らかの共通の属性及び仲間意識を持ち、相互にコミュニケーションを行っているような集団(人々や団体)。この中で、共通の生活地域(通学地域、勤務地域を含む。)の集団によるコミュニティを特に「地域コミュニティ」と呼ぶ。</u>

項目	定義
北海道	<u>地域社会を構成する個人、家庭、町内会・自治会、関係団体、NPO、行政などの多様な主体が、それぞれの役割分担のもと相互連携を図りながら、地域社会の課題解決のために参加、協働する共同体</u>
青森県	<u>住民自身が地域の課題解決に向けた取り組みやまちづくり等を行う集団・団体。町内会等や連合町内会等もこれに含まれる。</u>
兵庫県	<u>一人ひとりが自主性・責任をもち、全体として地域性、信頼感を備えた住民自治の基礎的単位であり、かつ開かれた多様・多重なつながりをもつ集団</u>
香川県	<u>日常生活のふれあいや共同の活動、共通の経験をとおして生み出されるお互いの連帯感や共同意識と信頼関係を築きながら、自分たちが住んでいる地域をみんなの力で自主的に住みよくしていく地域社会</u>
山崎丈夫『地域コミュニティ論 改訂版』 (自治体研究社、2006)	<u>コミュニティは、地域住民が生活者の視点で生活の場を見直し、共通の問題関心のもとに、共同の力で地域問題を解決していくための活動の場である。コミュニティは、これらの社会的活動を通じて、地域問題の調整・解決機能を発揮し、住民自治の力量を蓄積していくことが期待されている。</u>
『自立型地域コミュニティへの道』(ぎょうせい/国土交通省総合政策局監修、2004)	1つの地域を基盤としたさまざまな人が関わる共通の関係社会(共関係社会)ということ。必ずしも蓋然的に決められた区域ではないが、 <u>何らかの地域基盤を有した共通の社会エリア</u> 。そうした地域性を支える経済的ないしは文化的・精神的な共通性をもたらす社会システムということ。 <u>人々が関わる空間的、時間的、人間的な「場」</u> を意味する。つまり地域の施設であり、集まりであり、組織であり、ネットワーク。バーチャル(仮想的)な場も含まれる。 それらの意味が複合・統合化された「社会的な場」の概念も含まれる。つまり1人ひとりの人をくむ生活環境であり、社会的な活動の環境である。
新自治用語辞典(ぎょうせい)	<u>同一地域内にともに居住する人々が、居住することにより生活のあらゆる分野にわたって共同し、その居住地域を媒介とした共通的な意識、価値観、言語、行動規範、生活様式等を形成する地域的生活共同体をいう。</u>
広辞苑(第六版)	<u>一定の地域に居住し、共属感情を持つ人々の集団。地域社会。共同体。アメリカの社会学者マキヴァーの設定した社会集団の類型。個人を全面的に吸収する社会集団。家族・村落など。</u>
ウィキペディア (Wikipedia)	<u>地域住民が生活している場所、すなわち消費、生産、労働、教育、衛生・医療、遊び、スポーツ、芸能、祭りに関わり合いながら、住民相互の交流が行われている地域社会、あるいはそのような住民の集団を指す。コミュニティという総称には、市町村などの地方自治体、地域を越えて連携した非営利組織などの集団、インターネット上で連絡を取り合う集団等も含まれる。そこで、<u>地域社会の現地住民が集団の構成要素であるコミュニティを、特に地域コミュニティと定義し、行政、地域を越えた連携と連絡を基盤としたその他のコミュニティと区別する。</u></u>

資料：地域政策課作成(書籍、インターネット等により情報収集)

(2) 本調査における定義

(1) から、政策上、一般的によく使われる「コミュニティ」の定義としては、主に以下のような点が共通するキーワードとして浮かび上がってくると考えられる。

- ・一定の地域を基盤に構築されたものであること
- ・地域住民を構成要素とし、住民相互のつながり・絆によって構築されたものであること
- ・暮らしやすい地域社会を実現するためにそこに暮らす住民による自立的・主体的な地域づくり活動や地域課題解決等の取組みが行われるものであること
- ・地域を構成する多様な主体との協働・連携も視野に入れて活動を行うものであること 等

これらのキーワードをもとに、本調査では、特にことわりのない限り、以下のように「地域コミュニティ」を定義づけることとする。

地域コミュニティとは

...一定の地域を基盤とした住民組織、人と人とのつながりであり、そこに暮らす地域住民が構成員となって、地域づくり活動や地域課題の解決等、その地域に関わる様々な活動を自主的・主体的に展開している地縁型団体・組織（集団）をいう

2. 地域コミュニティに求められる機能

ここでは、今後活性化を図る上で重要なポイントとなる地域コミュニティに求められる機能について、国等における既往調査の整理事例を参考に、本調査としての整理を行った。

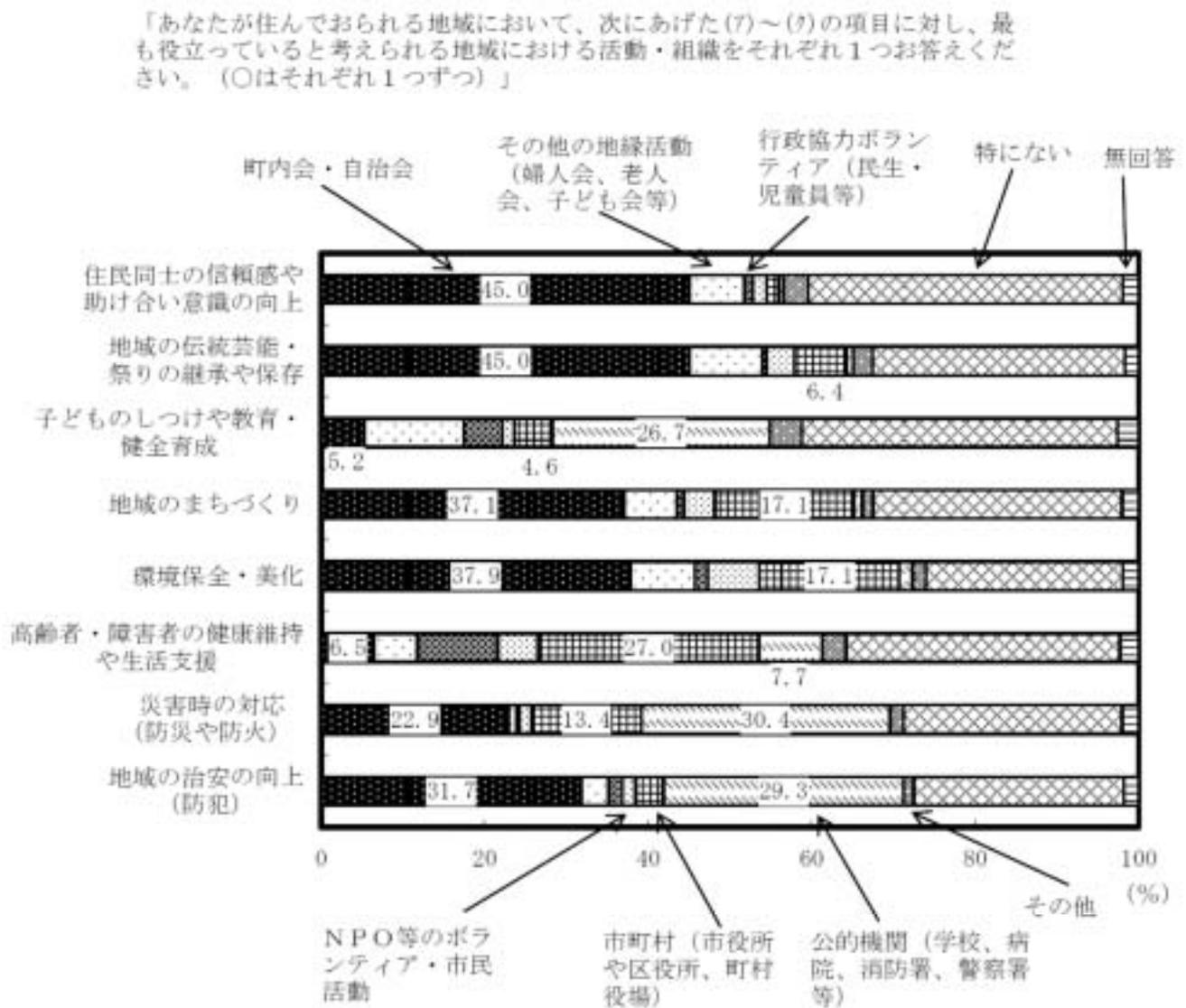
(1) 既往調査における整理

「平成 16 年度国民生活白書」(内閣府)によると、地域コミュニティの代表的な構成主体である自治会・町内会に求められる役割として、以下のものがあげられている(地方公共団体に対するアンケートにおいて自治会・町内会を必要とする理由として回答されたもの。上位 10 位までを高い順に列挙)。

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 住民相互の扶助や住民自治の拡充のため | 行政からの事務連絡のため |
| 地域のまちづくりを進める主体として | 環境美化、環境保全の担い手として |
| コミュニティ組織の中核的な主体として | 廃棄物・リサイクル活動の担い手として |
| 防災活動や地域の安全確保の担い手として | 地域福祉の担い手として |
| 地域の人々の親睦や精神的なまとまりのため | |
| 行政の計画・施策に住民の意見を反映させるため | |

また、同じ内閣府の「国民生活選好度調査」(2007年)によると、様々な主体による地域活動のうち、役立っている活動を行っている組織として自治会・町内会等の地域コミュニティをあげているものとしては、「地域の伝統芸能・祭りの継承や保存」や「住民同士の信頼感や助け合い意識の向上」、「環境保全・美化」、「地域のまちづくり」などが特に多く見られている。さらに、地域の安心・安全に関わる「地域の治安の向上」や「災害時の対応」についても、「公的機関」と同程度の高い評価が地域コミュニティに対してされている。

図表 1 - 2 役立っている地域活動を行っている組織



(備考) 回答者は、全国の15歳以上80歳未満の男女3,383人。

資料：「国民生活選好度調査」(内閣府、2007年)

(2) 今日地域コミュニティに求められる機能

(1) で示した機能のうち、関連の強いと思われる機能をまとめていくと、下表のとおり、大きく分けて、5つの機能にグルーピング化することができると考えられ、ここでは、この5つの機能を今日地域コミュニティに求められる機能として整理することとした。

今後、地域コミュニティの活性化に向けては、それぞれの機能を強化するとともに、特に、地域課題解決機能()と地域自治機能()の発展型機能をも備えたハイスpek的な地域コミュニティを目指すことが重要となると考えられ、政策(行政による支援)の重点もそれらの機能の強化においたものとしていく必要があると考えられる。

図表 1 - 3 今日地域コミュニティに求められる機能

機能	内容	具体例
親睦機能	趣味・レクリエーションや親睦活動等を通して、住民同士の交流をさらに促進し、親睦を深める機能	盆踊り・お祭り・敬老会・成人式等のイベント開催、趣味・スポーツ・レクリエーション活動、住民相互の連絡(回覧板の回付等)、慶弔等
地域環境維持機能	地域活動の拠点施設の維持・管理、地域固有の自然や古くから伝わる伝統・文化等、地域の様々な資源・環境の保護・継承に貢献し、地域の個性(魅力ある地域)を維持・形成する機能	集会施設等の計画づくり・維持管理、伝統文化・伝統芸能の継承等
行政補完機能	行政関係資料の配布など行政及び外郭団体情報の伝達・調整、募金地域内の調整・各種団体やNPOなどの連携及び、地域の代表としての行政への陳情・要望等	行政からの広報誌等の回付等、行政からの連絡、公共事業の協力、行政の会議等への参加、行政機関・議会に対する要望・陳情等
地域課題解決機能	地域住民のニーズを反映した、住みよい安心・安全な地域社会を実現するため、個人や家庭、地域が直面する課題について地域住民自らが発見・把握・共有し、相互に協力して解決する機能	住民相互の扶助、防火・防災活動・地域の安全確保、交通安全、地域福祉・介護・保健・医療活動、学校教育支援・生涯学習、環境美化・清掃活動・環境保全・廃棄物・リサイクル活動等
地域自治機能	行政と共に地域で公共を担う「新たな公」や地域分権の受け皿としての地域自治機能	地域のまちづくりへの参加・地域づくりなどの政策提言、地区計画・コミュニティ計画の策定への参加等

資料：地域政策課作成